

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和5年4月6日

盛岡市議会議長

竹田 浩久 様

議員氏名 遠藤 政幸

盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により令和4年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	600,000 円	
支 出	調査研究費	138,570 円	行政視察
	研修費	17,000 円	市政調査会拠出金
	広報費	円	
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	155,570 円	
差引残余 ①-②	444,430 円		



様式第6号

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費 /
------	---------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R4.10.7	1,500 円	行政視察(10/14~10/16) 視察先士産	/
R4.10.12	137,070 円	視察交通費、宿泊料、企画料	/
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	138,570 円		

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	10月7日
------	-------	-----	-------

支出証拠書類の額面金額	7,504	円
支出按分率（※按分が必要な場合）	5分の1	
政務活動費支出金額	1,500	円

【支払概要】

視察先土産  
参加議員5名で均等割 原本は大石議員が保管  
1,500円×5名=7,500円 端数4円は大石議員に計上  
参加議員 大石 仁雄、村上 貢一、菊田 隆、遠藤 政幸、高橋 重幸

領収書等添付欄

別紙に添付



岩手路 盛岡フェザン  
019-654-7671

お買い上げ有難う御座います。  
【お知らせ】プラスチック製レジ袋  
1枚3円で販売しております。

2022年10月 7日(金) 12:01 No:0002

9762配送料  
単1,700× 2個 ¥3,400

4973110168945  
0600福田パンあんバタ  
単2,052× 2個 軽 ¥4,104

小 計 ¥7,504

10%内税対象額 10.00% ¥3,400

10%内税 10.00% ¥309

8%内税対象額 8.00% ¥4,104

8%内税 8.00% ¥304

合 計 ¥7,504

(内消費税等 ¥613)

他クレジット ¥7,504

(消費税等 ¥613)



a0002134600007504a

軽は軽減税率(8%)適用商品  
お買い上げ有難う御座います。

資No:00000811:S2

取引No1346 4点買

原本は大石仁雄議員へ添付

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	10月12日
------	-------	-----	--------

支出証拠書類の額面金額	137,070	円
-------------	---------	---

支出按分率（※按分が必要な場合）		
------------------	--	--

政務活動費支出金額	137,070	円
-----------	---------	---

【支払概要】

支出内訳：盛岡⇄東京JR券	12,860	円
盛岡⇄東京 運賃	17,160	円
モノレール往復	1,000	円
羽田空港⇄那覇空港	47,320	円
タクシー借上代	18,810	円
宿泊費	27,500	円
企画料	12,420	円

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---



TOBU TOP TOURS CO., LTD.

No. 3204 AA 005528  
お客様コード

領 収 証 RECEIPT

DATE 2023/03/13

RECEIVED FROM 遠藤 政幸 様

領 収 金 額 THE SUM FORM ¥137,070※

但し 2022/12/05日発行領収証No. 005372  
FOR 上記領収証紛失の為再発行  
10/14-16市政調査会視察旅費として

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	2022/10/12日 137070円
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

上記金額正に領収致しました  
The above sum has been duly received



東武トップツアーズ株式会社

盛岡支店

〒020-0022  
盛岡市大通1-11-13  
盛岡フコク生命大通ビル6階

※クレジットカードによる領収（お支払い）の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

## 視察等概要書

議員氏名 遠藤政幸

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和4年10月14日(金)
参加者	遠藤政幸、高橋重幸、村上貢一、菊田隆、大石仁雄 計5名
視察先および調査項目	沖縄県うるま市 ・沖縄IT津梁パークの概要及び現地視察
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b></p> <p>沖縄IT津梁パークは、日本有数のリゾートロケーションとしての地理的特性、ビジネス拠点としての高い注目度、ビジネスをサポートする各種支援制度、そして充実したインフラ環境といった4つの強みを活かし、IT産業の拠点としての機能を担っている。</p> <p>特に、入居企業に対する税制上の優遇措置や、入居企業同士のビジネスマッチング機能については特筆すべきものがある。</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>沖縄IT津梁パークは、リゾート地域としての優位性、アジアの主要都市に対するアクセス、リスク分散という立地特性もさることながら、「ITの力で人と事業を育て、新しい価値を創出する」という大きな目的のもとで事業を展開している。</p> <p>この結果、企業の立地検討においても優位であることに加え、立地企業同士が様々な相乗効果を創出し、新たなビジネスを生み出すなど、知の拠点としての競争力が高まっている、という状況を強く実感する。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書



## 沖縄 IT 津梁パーク視察報告書

日 時	令和4年10月14日(金) 15:30 ~ 16:30
場 所	沖縄 IT 津梁パーク
視察項目	沖縄 IT 津梁パークにおける IT 拠点づくりの取り組みについて
先方対応者	沖縄 IT 津梁パーク 施設長 大城 正 氏

視察内容	
【主な内容】	<p>1. 沖縄 IT 津梁パークの概要</p> <p>(1) 施設の目的</p> <p>IT 津梁パークは、沖縄県を国内外の情報通信関連産業の一大拠点となるためのビッグプロジェクトである。「津梁」とはアジアとの架け橋を意味している。</p> <p>(2) 施設のコンセプト</p> <p>IT 津梁パークのコンセプトは下記の5点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新しい IT 産業(高度ソフトウェア開発等)の拠点となる</li> <li>②日本とアジアを結ぶ IT ブリッジ(IT 津梁)の役割を果たす</li> <li>③IT 産業のテストヘッドを提供する</li> <li>④日本とアジアに必要な高度な IT 人材の創出集積を担う</li> <li>⑤優れたリゾート&amp;IT 就業環境を提供する</li> </ul> <p>この大きな背景としては、沖縄県が農業と観光の町から脱却し、IT による高度人材育成を行う中で、働く人の年収をより高めていくということにある。</p> <p>(3) 入居企業の特徴とインセンティブ</p> <p>入居企業にとってのインセンティブは、以下の点が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 入居企業同士の交流によるマッチング機能 お互いの知恵を結集して、新たなビジネスにつなげる</li> <li>② 沖縄県限定の経済特区としての、税制上の特例措置 法人所得の最大40%を損金算入、固定資産税の特例措置等、当県限定の特例措置が講じられている</li> <li>③ リゾート地としての地域性 リゾート地であるがゆえに、職場としての優位性のほか、居住地としての優位性をもって、企業立地への訴求力を備えている。</li> <li>④ アクセス性とリスク分散 アジア主要都市へのアクセスが良いことに加え、本土との遠隔性から、リスク分散・BCPの課題にも適応できる。</li> </ul>
【質疑応答】	<p>Q：インキュベート施設はあるか</p> <p>A：現在は無いが、3年後をメドに施設を立ち上げる予定。</p>

Q：入居企業の特徴と雇用創出効果は

A：沖縄 IT 津梁パークには、現在 41 社が入居し、約 2,300 人の雇用を創出している。中でもコールセンターや、大手企業の研究開発セクションの入居が目立つ。

Q：今後の課題事項は

A：①建屋の増設

入居の引き合いも依然旺盛であり、建屋の増設が課題事項である。

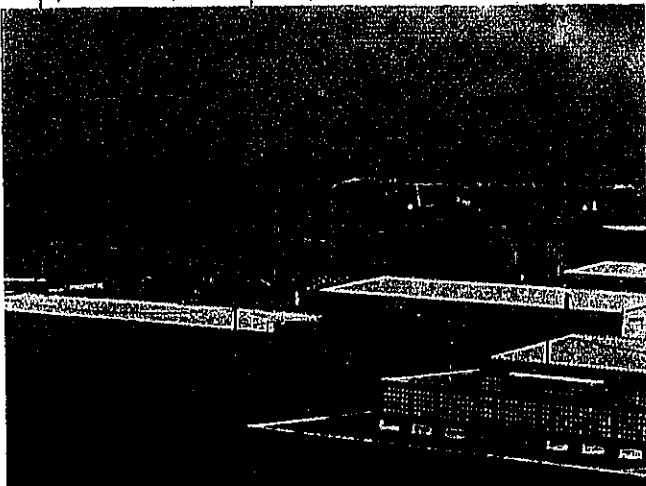
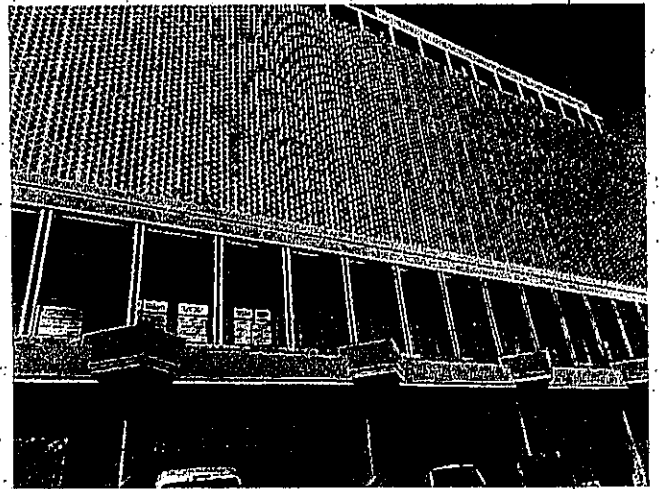
②老朽化対策

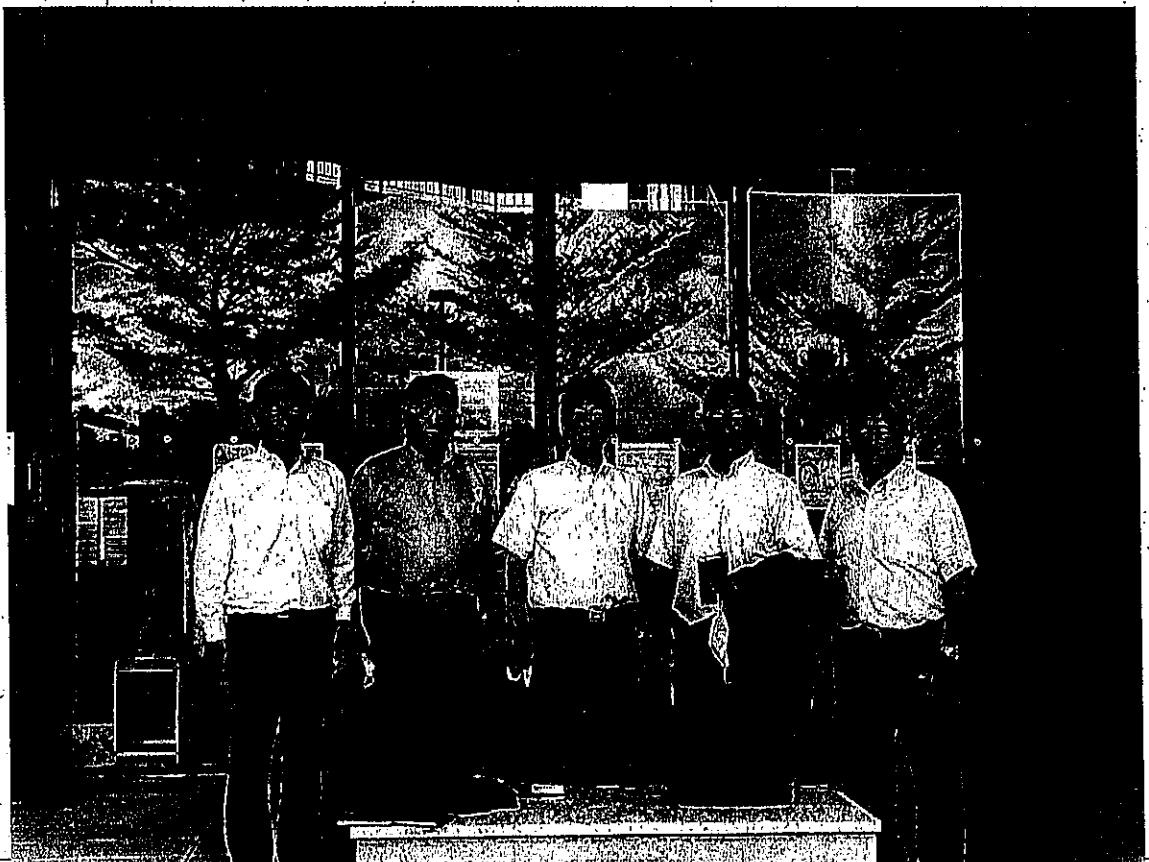
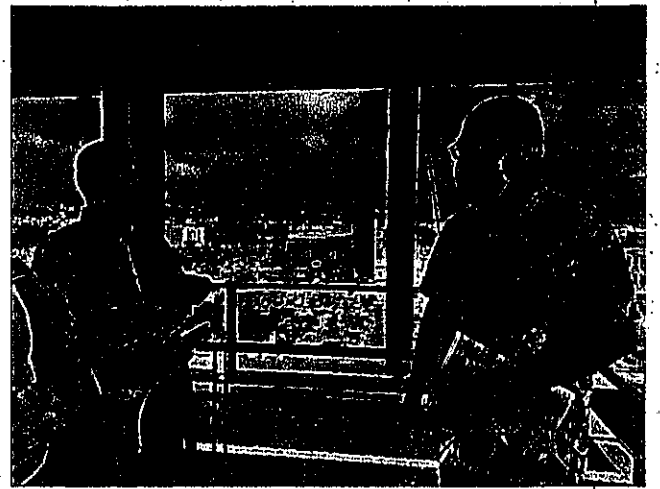
浜風による建屋の経年劣化を、いかに抑制するかが大きな課題。

【まとめ】

沖縄 IT 津梁パークは、リゾート地域としての優位性、アジアの主要都市に対するアクセス、リスク分散という立地特性に加え、「IT の力で人と事業を育て、新しい価値を創出する」という大きな目的のもとで事業を展開している。この結果、企業の立地検討においても優位であることに加え、立地企業同士が様々な相乗効果を創出し、新たなビジネスを生み出すなど、知の拠点としての競争力が高まっている、という状況を強く実感する。

盛岡にあっても、道明地区の工業団地において、「研究開発拠点」、あるいは「医療拠点」としての優位性を高めていくという目標を掲げているなか、この沖縄 IT 津梁パークは、大いに参考になる事例であり、盛岡における種々の課題事項の解決に寄与するものと感じ入った次第である。





## 視 察 等 概 要 書

議員氏名 遠藤政幸

団体名	盛岡市政調査会
実 施 日	令和4年10月15日(土)
参 加 者	遠藤政幸、高橋重幸、村上貢一、菊田隆、大石仁雄 計5名
視察先および 調査項目	沖縄県うるま市 ・あまわりパークの概要及び現地視察
視察の概要 および所感	<p><b>【視察概要】</b></p> <p>あまわりパーク（勝連城跡文化観光拠点施設）の整備は、これまでの「通過型観光」という弱点を打開し、観光需要拡大を図るべく、滞在型観光への転換を目指して、PFI方式によって整備を行っているものである。</p> <p>現在は、歴史文化施設が供用開始となり、今後も変電所跡地の再整備等が行われるものであるが、この歴史文化施設では、高校生のライブパフォーマンスが呼び物になっているなど、観光交流拠点としての地位を確立しつつある。</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>勝連城跡周辺整備事業は、公民連携でのハード整備、明確なエリアコンセプトの設定、地元の様々な団体との連携、という特徴をもって、うるまの独自性を活かした着地型・滞在型観光を創出しているという点で、特筆すべきものがある。</p> <p>また、今後の整備についても明確なマイルストーンを設定し、整備区域の将来像が目に見えるような形で情報を発信しているという点も、興味深いところである。</p>
<b>【添付資料】</b>	参加者により共同作成した報告書

## あまわりパーク視察報告書

日 時	令和4年10月15日(土) 9:50 ~ 11:45
場 所	あまわりパーク
視察項目	勝連城跡周辺整備事業について
先方対応者	うるま市経済産業部観光振興課 課長 新垣 健 氏 // 企画部プロジェクト推進2課 課長 岸本 力 氏 // 企画部プロジェクト推進2課第1係長 ████████ 氏

視察内容	
【主な内容】	<p>1. 勝連城跡周辺整備事業の背景と目的</p> <p>(1) 事業の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 物販、飲食施設等の環境が整っておらず、滞在時間の延長や観光消費の拡大に繋がっていない。</li> <li>② 通過型観光になっており、訪問機会を最大限取り込めていない。</li> </ul> <p>(2) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 沖縄県のさらなる観光需要拡大機会の取り込み</li> <li>② 通過型観光から脱却滞在型への転換</li> <li>③ 観光消費の拡大による市民所得の向上</li> </ul> <p>2. 活用状況</p> <p>(1) あまわりパーク歴史文化施設</p> <p>当地の歴史や文化を伝える常設展示のほか、歴史上の英雄である「阿麻和利」をテーマにした映像上映や、地元の中高生が演じるライブパフォーマンスにより、観光集客を強化している。</p> <p>(2) 夜間景観</p> <p>夜間景観の発信による集客力向上を図っている。</p> <p>3. 事業手法</p> <p>(1) PFI方式による整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 公民連携手法民間事業者の豊富なアイデアやノウハウを活用することで、世界遺産の勝連城跡を拠点とするエリアのさらなる魅力向上や新たな価値を創出する。</li> <li>② 民間事業者にとって、新たなビジネスチャンス事業拡大の契機となる。</li> <li>③ 新たな観光の軸の創出による、城内周辺の消費観光消費の拡大、うるま市全体の経済活性化を図る。</li> </ul> <p>(3) 今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度内に、与勝変電所の施設撤去、所有権移転を実施。あわせて、既存の休憩所および駐車場に芝を張って入口広場として整備。</li> </ul>

② 令和5年度には、変電所跡地を休憩可能なエリアとして整備。

【質疑応答】

Q：施設整備の予算規模は

A：あまわりパークについては、総額約60億円（変電所移設費用20億円を含む）。うち8割にあたる約48億円が国の一括交付金。  
勝連城跡の整備は約30億円（うち15億円が国の交付金）。

Q：整備にあたっての規制は

A：世界遺産に手を加えることに関する諸規制をクリアするのに知恵を絞った。例えば、城跡を登っていく階段は、「石畳を保護するための仮設の階段である」との理屈付けを行ったうえで、整備の許可が得られたものである。

Q：整備事業による効果は

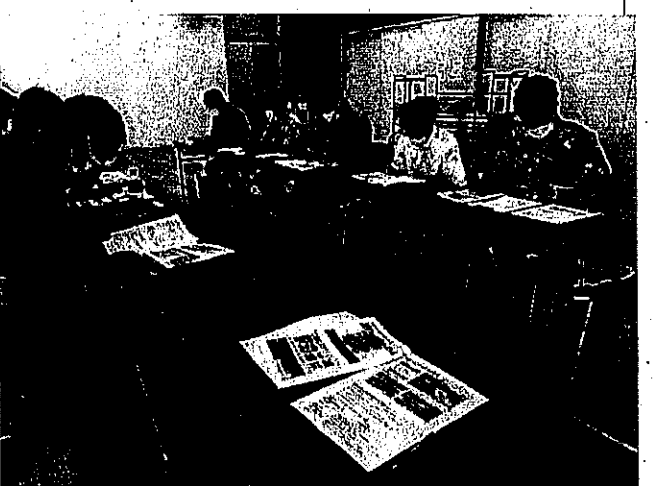
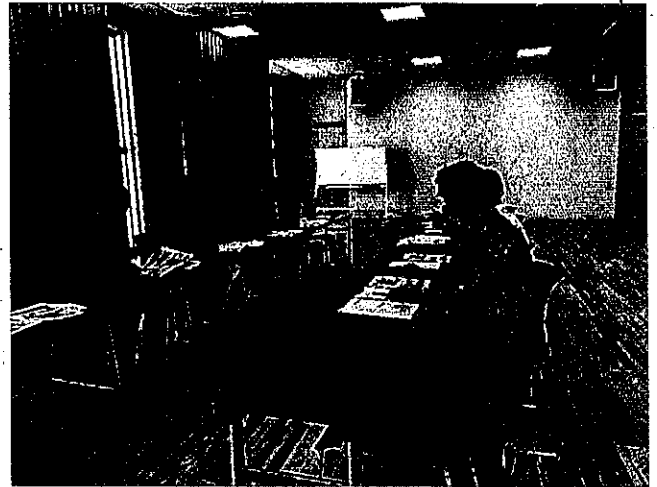
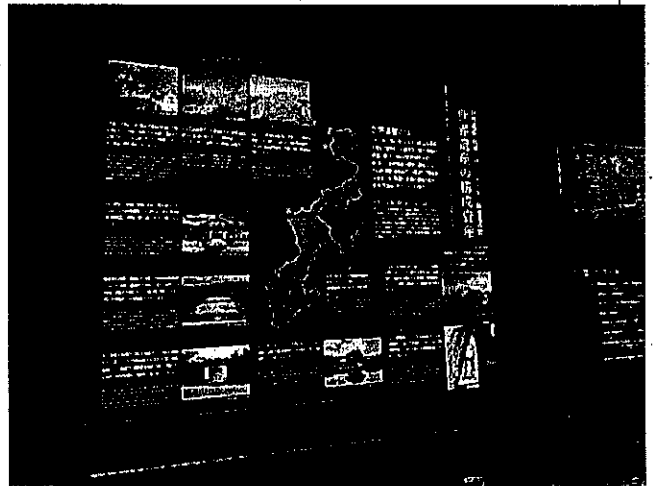
A：当地の弱点であった「滞在型観光」の推進に、一定効果が見えてきた。  
ほか、地元のエンターテインメント団体とのタイアップによる相乗効果も創出できている。

【まとめ】

勝連城跡周辺整備事業は、公民連携でのハード整備、明確なエリアコンセプトの設定、地元の様々な団体との連携、という特徴をもって、うるまの独自性を活かした着地型・滞在型観光を創出しているという点で、特筆すべきものがある。

また、今後の整備についても明確なマイルストーンを設定し、整備区域の将来像が目に見えるような形で情報を発信しているという点も、興味深いところである。

予算規模、助成規模については、沖縄県特有の、相当に率の高い国の助成金を取得しての整備という点において、盛岡・岩手は到底かなわないところも見受けられるが、こうした、エリア全体としてのランドデザインを明確にしながら総合的に開発しているという点、地元の様々な団体を巻き込んで盛り上げているという点については、盛岡市においても、十分に参考としながら、今後の事業に取り込んでいくべきものと認識した。



## 視察等概要書

議員氏名 遠藤政幸

団体名	盛岡市政調査会
実施日	令和4年10月15日(土)
参加者	遠藤政幸、高橋重幸、村上貢一、菊田隆、大石仁雄 計5名
視察先および調査項目	沖縄県うるま市 ・うるま市議会議員との意見交換会
視察の概要および所感	<p><b>【視察概要】</b> うるま市議会議員5名に同席いただき、議会改革、その他の課題事項に関する意見交換を行った。</p> <p><b>【所感】</b> 議会改革に関しては、うるま市が、4市町が合併して成立した市であるという経緯のなか、それぞれのセクショナリズムを打破できていないという点が大きく影響し、そもそも議会基本条例の制定が進んでいないなど、議会改革が思うように進んでいないという状況が見受けられた。 議会改革については、むしろ、盛岡市のほうが進んでいるのではないかと、との印象がぬぐえない。</p>
【添付資料】 参加者により共同作成した報告書	



## うるま市議会視察(意見交換会)報告書

日 時	令和4年10月15日(土) 14:00 ～ 15:00		
場 所	うるま市役所西棟 うるま市議会第一委員会室		
視察項目	うるま市議会議員との意見交換		
先方対応者	うるま市議会議員	新政・公明会派長	喜屋武 力 氏
	〃	いぶきの会派長	仲程 孝 氏
	〃	希望の会派長	伊波 洋 氏
	〃	希望の会	宮城 一寿 氏
	〃	津梁	伊波 良明 氏

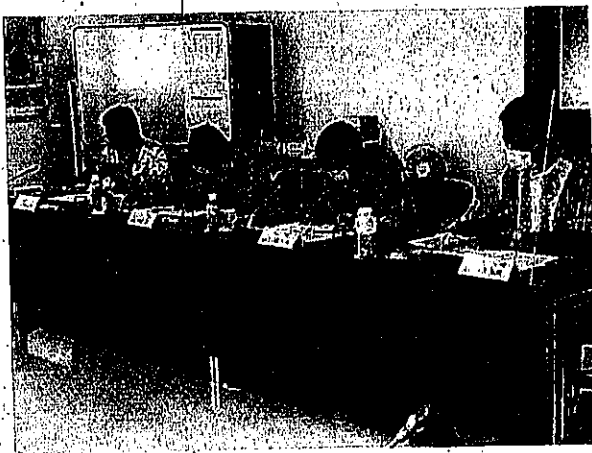
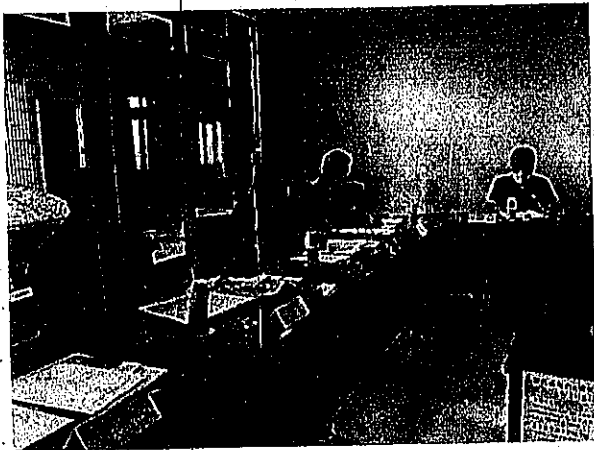
視察内容	
<b>【主な内容】</b>	<p>1. 議会改革の具体的取組事項について</p> <p>(1) タブレット端末 Wifi モデルのものを活用。紙ベースの資料と併用で運用している。 ⇒ 盛岡市の状況を説明 … 令和5年9月頃よりセルラーモデルを導入 段階的に、紙ベースのものを排除していく方針</p> <p>(2) 正副議長の決定 現状、互選により決定しているが、現在、立候補制の導入に向けた議論を展開している ⇒ 盛岡市では、既に立候補制を導入。開かれた議会とするためには、早期に立候補制を導入すべき。</p> <p>(3) 議会基本条例 議会改革調査特別委員会にて検討するところであるが、時期尚早として反対を表明している会派もあり。様々な確執に発展する見方もあり。 ⇒ 盛岡市では、既に議会基本条例を制定している。議会の基本姿勢を示すものであり、条例制定が議会改革の第一歩であると認識すべき。</p> <p>2. その他の意見交換事項</p> <p>(1) セクショナリズム うるま市は、平成17年に4市町が合併して設立した市であるが、17年経過した今になっても、オールうるまになり切れていない。4地域のセクショナリズムがいまだ見えており、これを克服することが大きな課題。</p> <p>(2) 公共交通 沖縄県民の足はバスしかない。高齢者は、地域内が活動のフィールド</p>

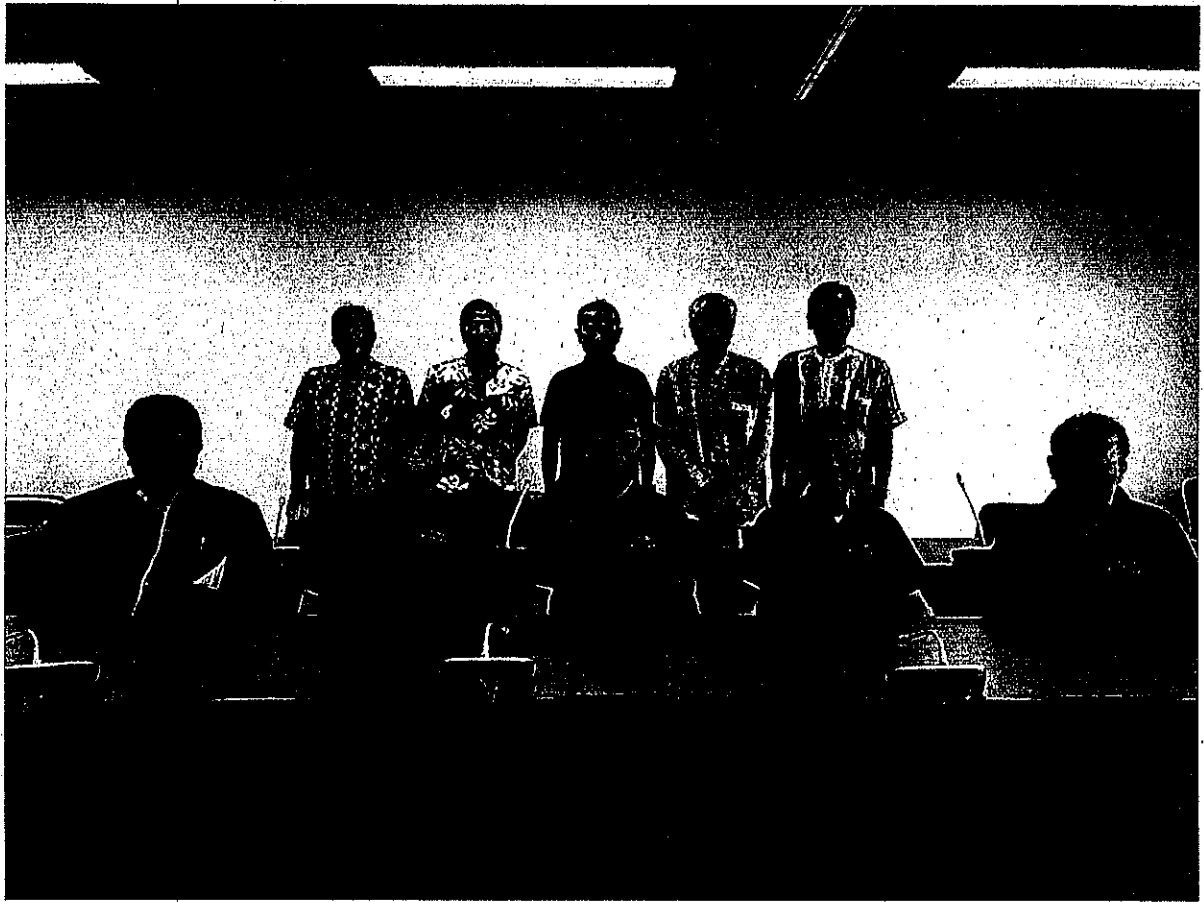
ドであり、遠方まで自由に往来できない状況。今後、地域の足としてのコミュニティバスの整備が課題である。

(3) 友好都市としての交流の在り方

以下の点が今後のポイントである。

- ① 子ども達の交流
- ② 人を知る・・・行政職の人事交流を盛んにする
- ③ お互いの市を知るキッカケとすべく、それぞれの図書館に、お互いの市に関する書籍を配架する。 など





市政調査会研修視察 日程表 (R4. 10. 14~10. 16)

【10月14日(金)】

※6:50集合(盛岡駅2階新幹線改札口(南側待合室))

盛岡駅(7:11) —— (はやぶさ4号) —— (9:23) 東京駅  
 東京駅(9:33) —— (京浜東北線) —— (9:39) 浜松町駅  
 浜松町駅(9:50) —— (東京モノレール) —— (10:08) 羽田空港  
 羽田空港(10:55) —— (JAL913便) —— (13:40) 那覇空港  
 (機内昼食)  
 那覇空港(14:20) —— (借り上げタクシー) —— (15:20) 沖縄IT津梁パーク

沖縄IT津梁パーク 視察(15:30~16:30) 担当:沖縄県議会事務局  
 【沖縄県議会事務局】 〒900-8501 沖縄県那覇市泉崎1-2-3 Tel:098-866-2576  
 ・沖縄IT津梁パークについて  
 (〒904-2234 沖縄県うるま市州崎14-17 TEL:098-989-0153)

沖縄IT津梁パーク(16:30) —— (借り上げタクシー) —— (16:50) 宿泊先  
 宿泊先(18:00) —— (借り上げタクシー) —— (18:30) 交流会会場

うるま市・盛岡市 友好都市提携10周年記念交流会(19:00~21:00)  
 〒904-2301 沖縄県うるま市与那城照間1B60-1 TERUMAIF (大型BBQ施設 東海岸BBQ TERUMA)  
 ☎:098-989-5626

《宿泊先》 オキナワグランメーブルリゾート 住所:〒904-2174 沖縄県沖縄市与儀2丁目8-1  
 Tel:098-931-1500

【10月15日(土)】

宿泊先(9:10) —— (借り上げタクシー) —— (9:40) あまわりパーク

あまわりパーク 視察(9:50~11:45)  
 〒904-2311 沖縄県うるま市勝連南風原3807-2 Tel:098-978-2033

あまわりパーク(11:45) —— (借り上げタクシー) —— (12:15) うるマルシェ  
 (昼食会場:うるマルシェ)

うるマルシェ(13:30) —— (借り上げバス) —— (13:50) うるま市役所

うるま市議会議員との意見交換会 視察(14:00~15:00)  
 【うるま市議会事務局】 〒904-2292 沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号 Tel:098-973-3511

うるま市役所(15:00) —— (借り上げバス) —— (15:20) 石川多目的ドーム

闘牛視察(15:20~16:00)  
 〒904-2224 沖縄県うるま市大田421 石川多目的ドーム

石川多目的ドーム(16:00) —— (借り上げタクシー) —— (16:50) うるま祭り会場

2022年うるま祭り視察(17:00~18:30)  
 〒904-2224 沖縄県うるま市大田427番地 うるま市具志川総合運動公園

うるま祭り会場(18:30) —— (借り上げタクシー) —— (19:00) 宿泊先

《宿泊先》 オキナワグランメーブルリゾート 住所:〒904-2174 沖縄県沖縄市与儀2丁目8-1  
 《夕食会場》 自由行動

【10月16日(日)】

宿泊先(9:30) —— (借り上げタクシー) —— (10:30) 那覇空港  
 那覇空港(11:20) —— (JAL904便) —— (13:45) 羽田空港  
 (機内等にて昼食)  
 羽田空港(14:30) —— (東京モノレール) —— (14:48) 浜松町駅  
 浜松町駅(14:53) —— (JR京浜東北線) —— (14:57) 東京駅  
 東京駅(15:20) —— (はやぶさ31号) —— (17:32) 盛岡駅

様式第6号

政務活動費支出簿


使途項目	研修費 /
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
R4.7.15 /	7,000 円	市政調査会拠出金 /	
R5.1.16 /	10,000 円	市政調査会拠出金 /	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	17,000 円		

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費 /	支出日	7月15日 /
支出証拠書類の額面金額		7,000 /	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		7,000 /	円
【支払概要】 令和4年度市政調査会拠出金 /			
領収書等添付欄		<input type="checkbox"/> 別紙に添付	

<b>領 収 書</b>	
遠 藤 政 幸 様	
一 金 7,000円 也 /	
令和4年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。	
令和4年7月15日 /	
盛岡市市政調査会 会長 遠藤政幸	

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費 /	支出日	1月16日 /
支出証拠書類の額面金額		10,000 /	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)			
政務活動費支出金額		10,000 /	円
【支払概要】 令和4年度市政調査会拠出金 /			
領収書等添付欄		<input type="checkbox"/> 別紙に添付	

<b>領 収 書</b>	
遠 藤 政 幸 様	
一 金 10,000円 也 /	
令和4年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。	
令和5年1月16日 /	
盛岡市市政調査会 会長 遠藤 政幸	